



資料2

霧島市公共施設マネジメント計画 推進委員会

霧島市公共施設管理計画
第1期実施期間（前期）の進め方

平成27年12月1日(火)
霧島市 総務部財産管理課

本日の委員会の狙い

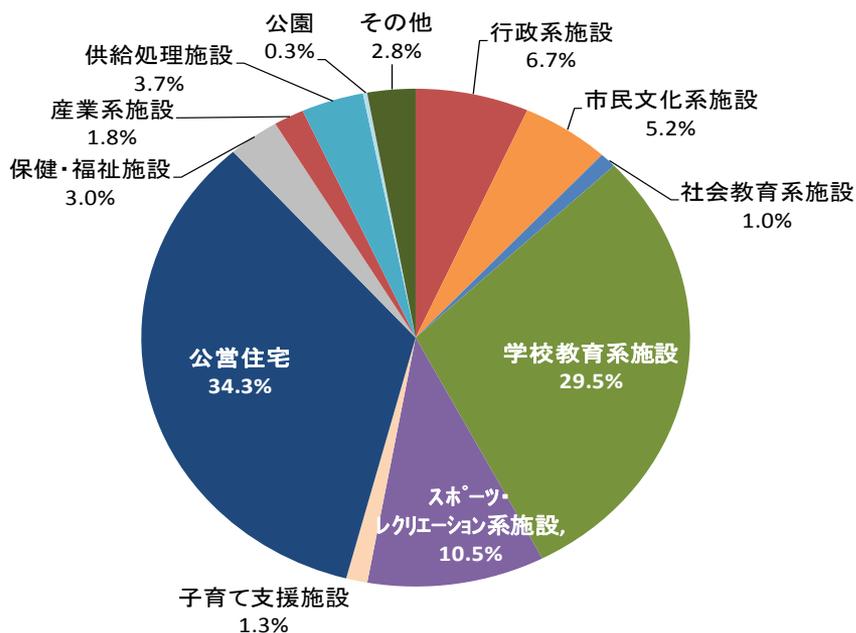
霧島市公共施設管理計画を平成27年3月に決定した。平成27年度から平成31年度の5か年を第1期実施期間(前期)として、総量の適正化に係る5年間の目標値9.9万㎡の検討を進めている。



皆さんに取り組みに係る「基本的な考え方について」**アドバイス(助言)をいただく。**

公共施設(建築物)の状況

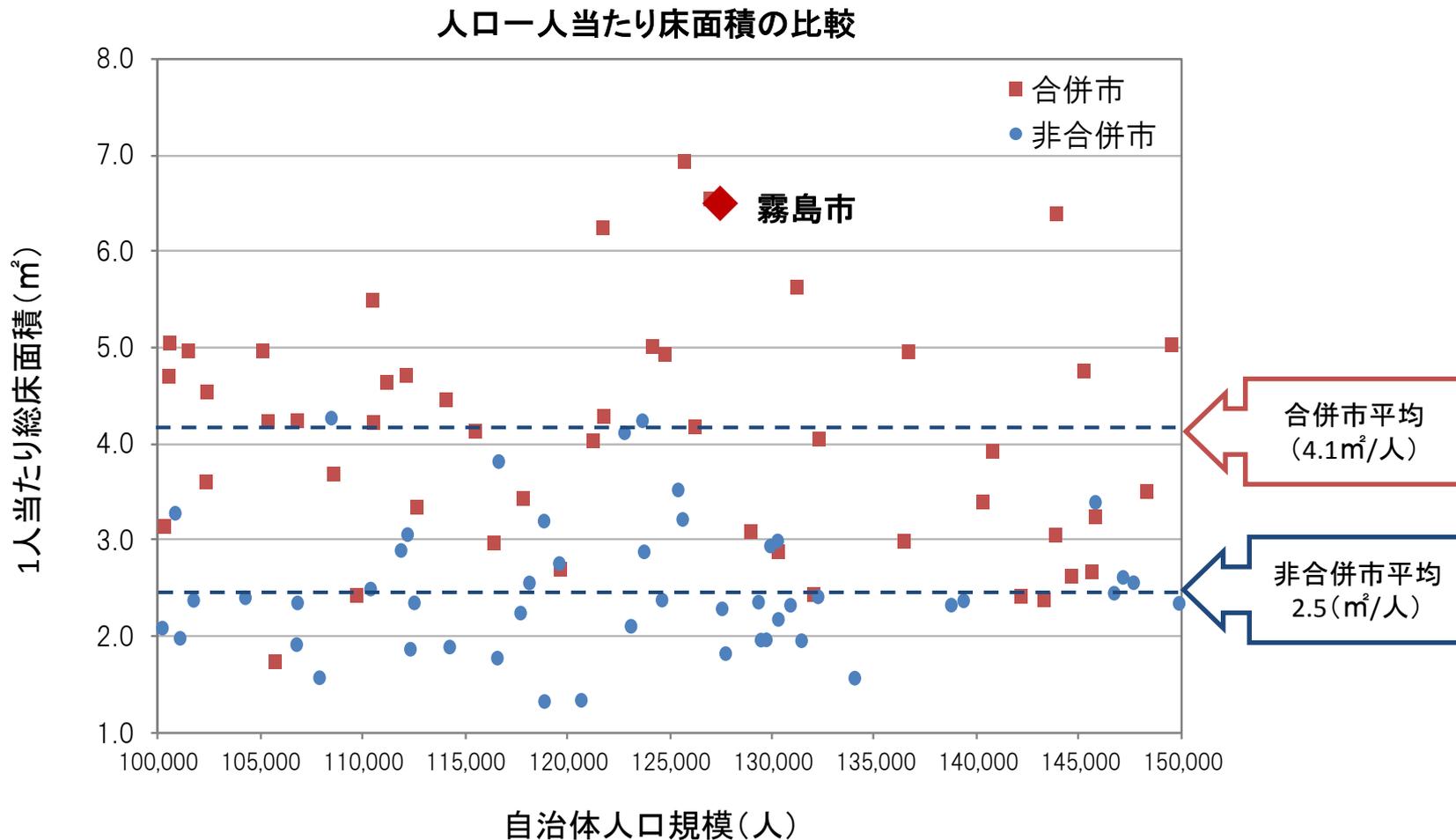
- ✓ 施設保有量が多い
- ✓ 公営住宅、スポーツ・レクリエーション施設の占める割合が高い
- ✓ 昭和40年代後半から50年代にかけて多くの施設を整備
- ✓ 施設の老朽化が進行(全体の42%は築30年以上経過)
- ✓ 更新・改修のコスト負担が今後過重になってくる



	施設数 (施設)	棟数 (棟)	延床面積 (万㎡)	構成比 (%)
公営住宅	172	772	28.2	34.3%
学校教育系施設	161	652	24.2	29.5%
スポーツ・レクリエーション系施設	66	262	8.6	10.5%
行政系施設	114	174	5.5	6.7%
市民文化系施設	109	128	4.3	5.2%
その他の施設	256	424	11.4	13.8%
合計	878	2412	82.2	100.0%

保有量

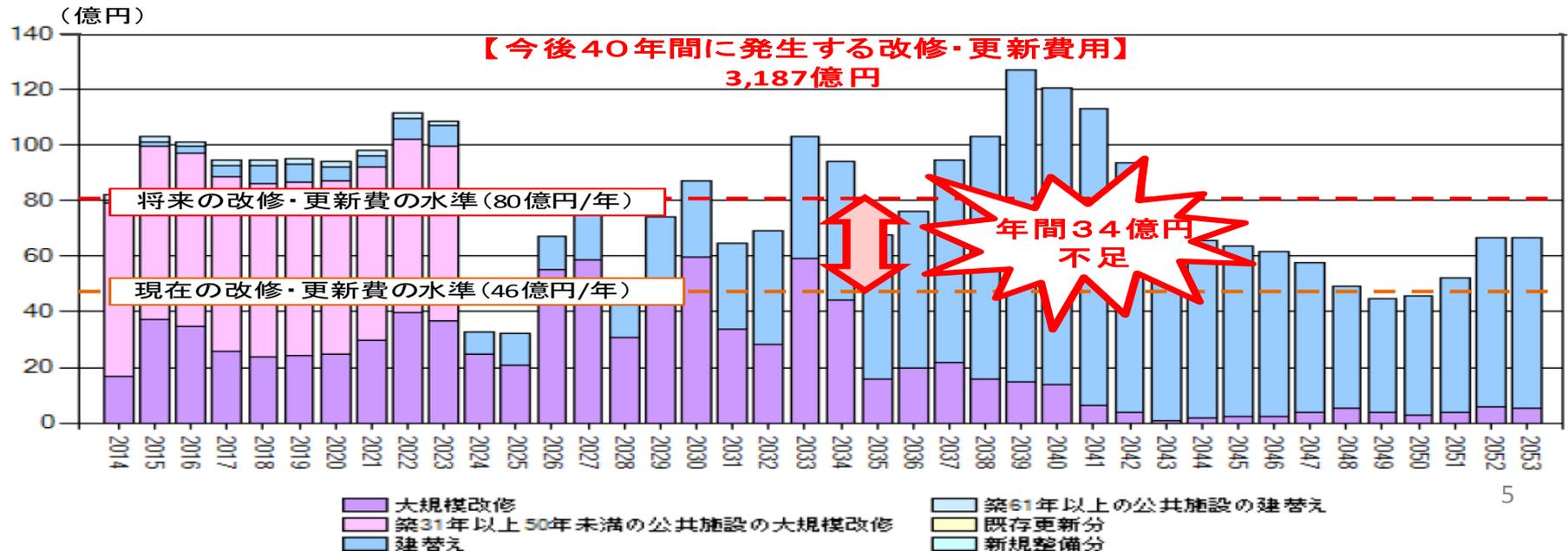
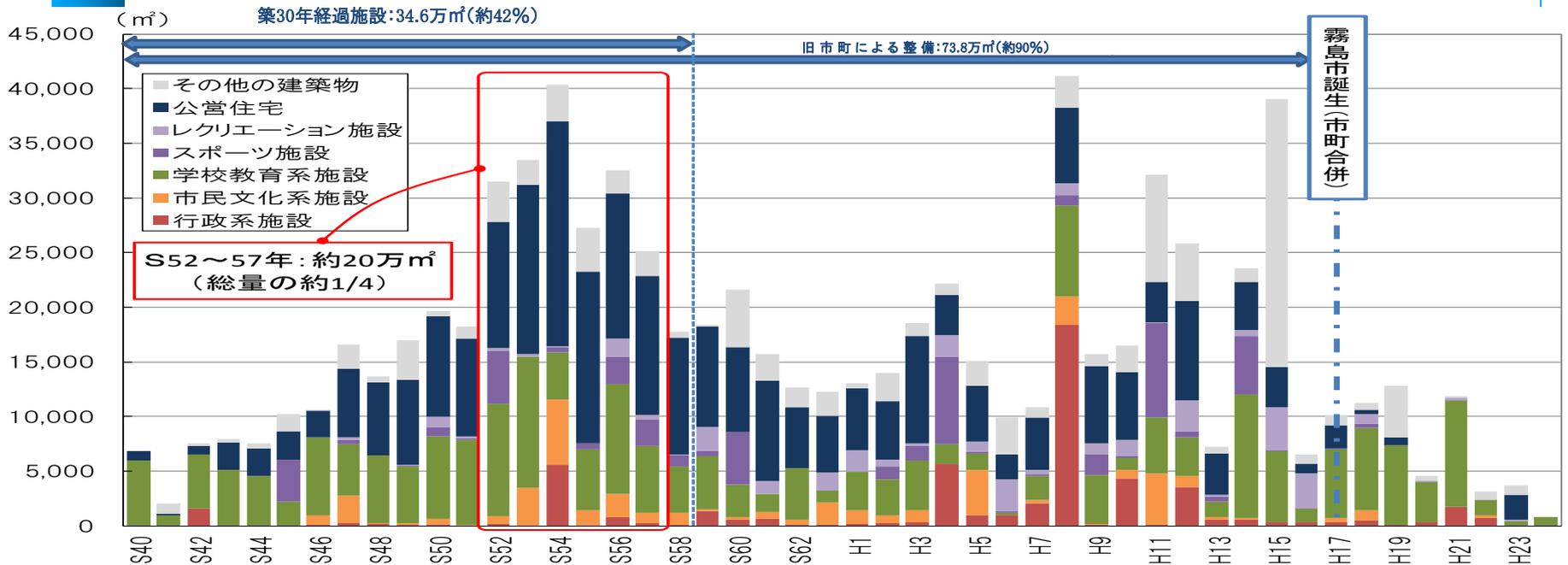
- 公共施設全体の1人当たり床面積は約6.5m²/人であり、合併市平均の4.1m²/人を大幅に上回っている。



※人口10万人以上15万人未満の自治体を対象に集計

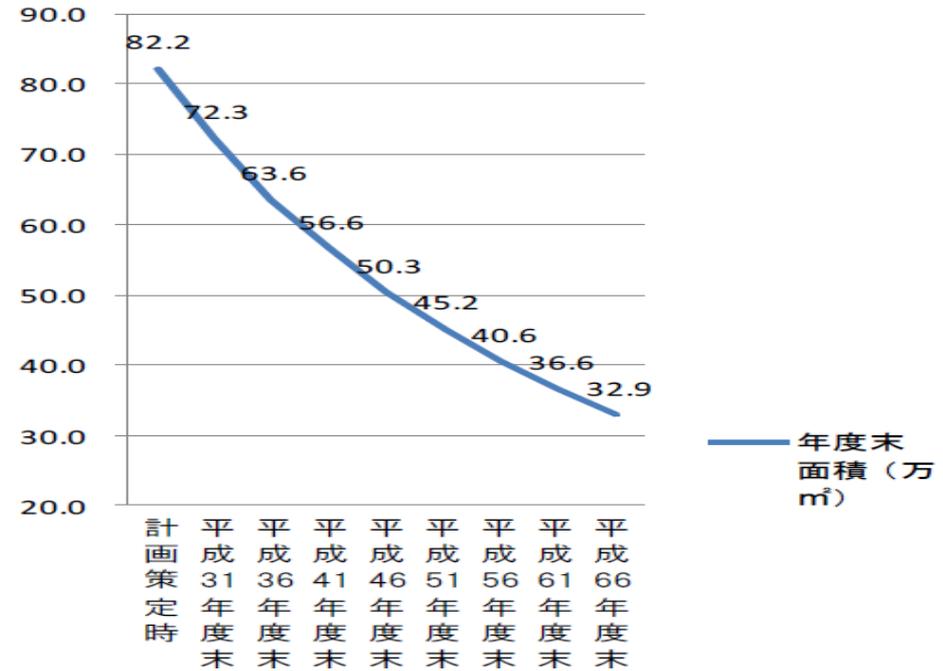
出典) 東洋大学資料

整備年次別、用途別総延べ床面積



建築物の保有量適正化目標と長寿命化方針

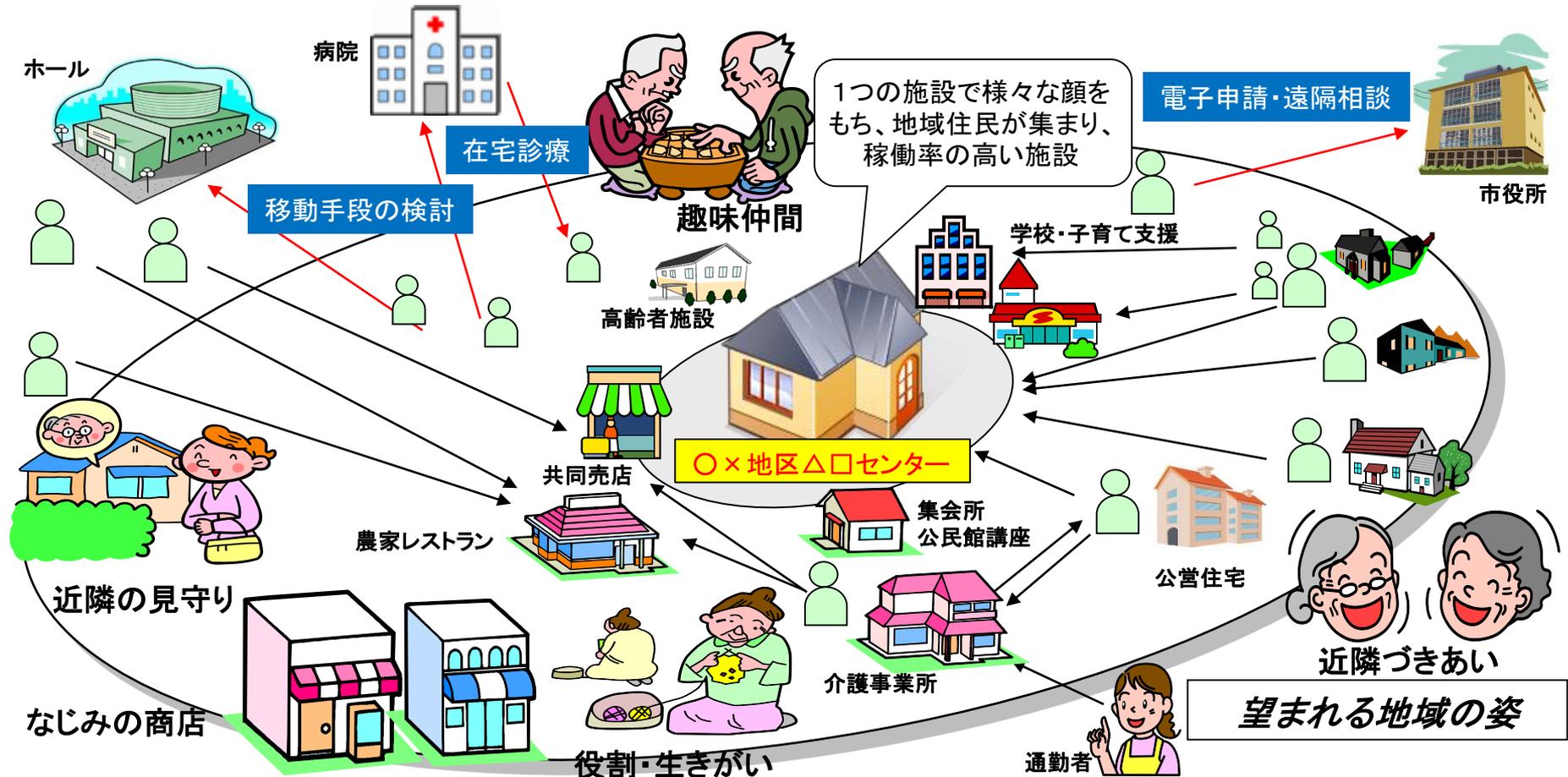
目標年度	削減量 (万㎡)	削減率 (%)	年度末面積 (万㎡)
計画策定時	-	-	82.2
平成31年度末	9.9	12.0	72.3
平成36年度末	8.7	12.0	63.6
平成41年度末	7.0	11.0	56.6
平成46年度末	6.3	11.0	50.3
平成51年度末	5.1	10.0	45.2
平成56年度末	4.6	10.0	40.6
平成61年度末	4.0	10.0	36.6
平成66年度末	3.7	10.0	32.9



施設の分類		主な用途	鉄骨鉄筋コンクリート 鉄筋コンクリート造	木造
維持すべき施設	予防保全をする施設 (建替・移転工事に伴う休業が困難な施設、不具合等が発生した時に市政の運営や市民の生活等に大きな影響を及ぼす施設)	行政系施設(庁舎、消防施設) 学校教育施設等	80年	60年
	上記以外の施設	市民文化系・社会教育施設等		
維持しない施設		—	※建替や大規模修繕等はありません。利用者等に危険を及ぼすような不具合があった場合は直ちに利用を中止します。	

地域の特性を活かし、暮らしに必要な施設だけを保有

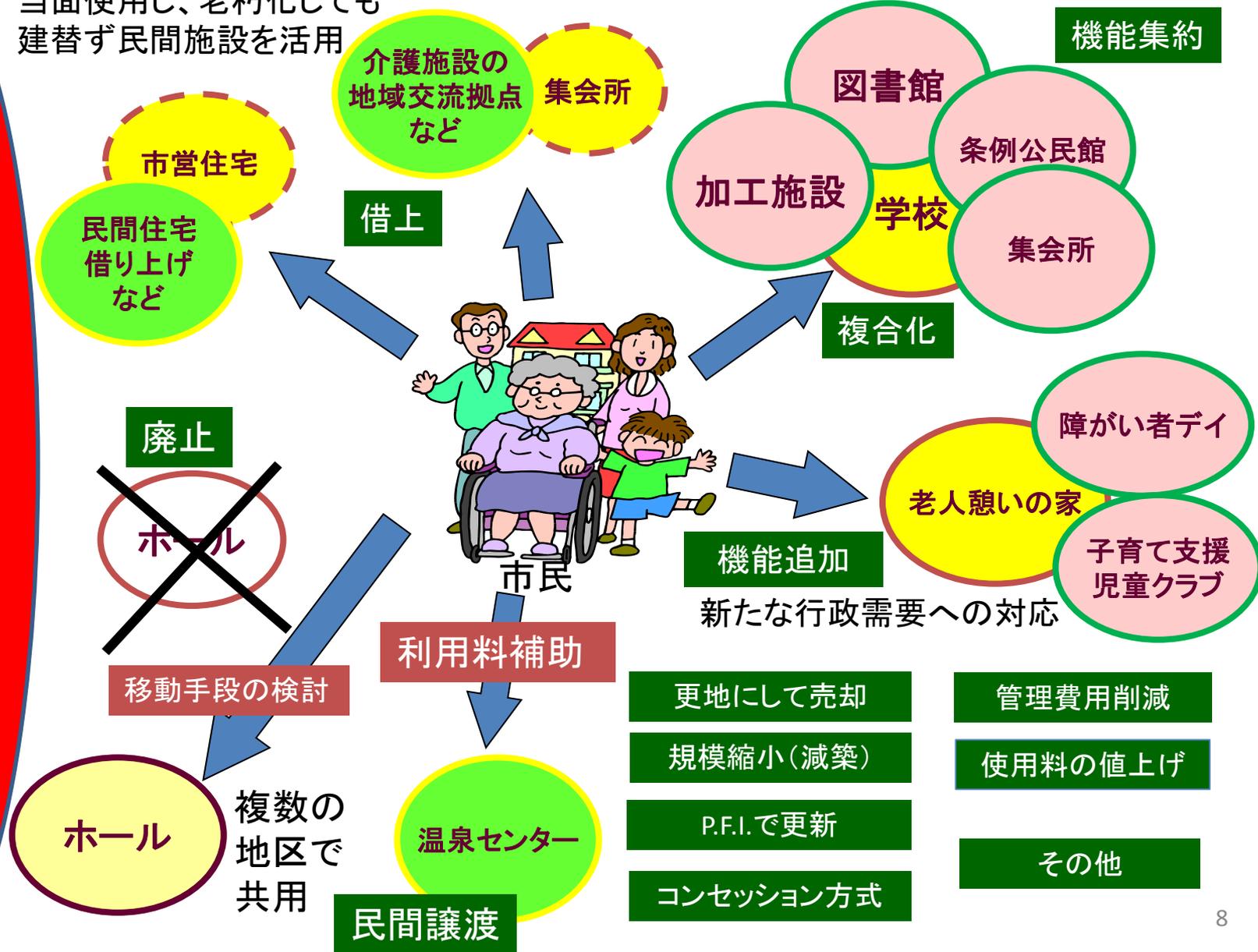
- Point
- 霧島市は自然や産業経済、文化など個性豊かで、様々な表情を持っている
 - 今後は人口減少と少子高齢化が進行する
 - 施設の持つ機能に着目する
 - こどもや高齢者、障がい者等を含む、全ての住民が自由に集える共生型の場を創る
 - ハード(施設等)の減少を補うソフトを検討をする。



公共施設管理計画(建築物)の手法(例)

計画期間平成27年度～40年間
保有する施設(40%)は長寿命化

当面使用し、老朽化しても
建替ず民間施設を活用



公共施設（道路・橋梁等）の状況

道路

種類	延長(m)
1級市道	261,946
2級市道	198,370
その他の市道	1,145,948
合計	1,606,264

橋梁

規模	橋梁数	延長(m)
15m未満	475	2,848
15m以上	176	6,359
合計	651	9,207

その他道路施設

種類	保有状況
トンネル	6箇所(総延長1,068m)
歩道橋	8箇所(総延長271m、面積712㎡)
舗装	1,502,314m(舗装率 93.5%)
道路照明	136箇所

水道

種類	延長(m)	
水源池	57	箇所
配水池	99	箇所
中継ポンプ所	11	箇所
管路延長	1,366,180	m

下水道

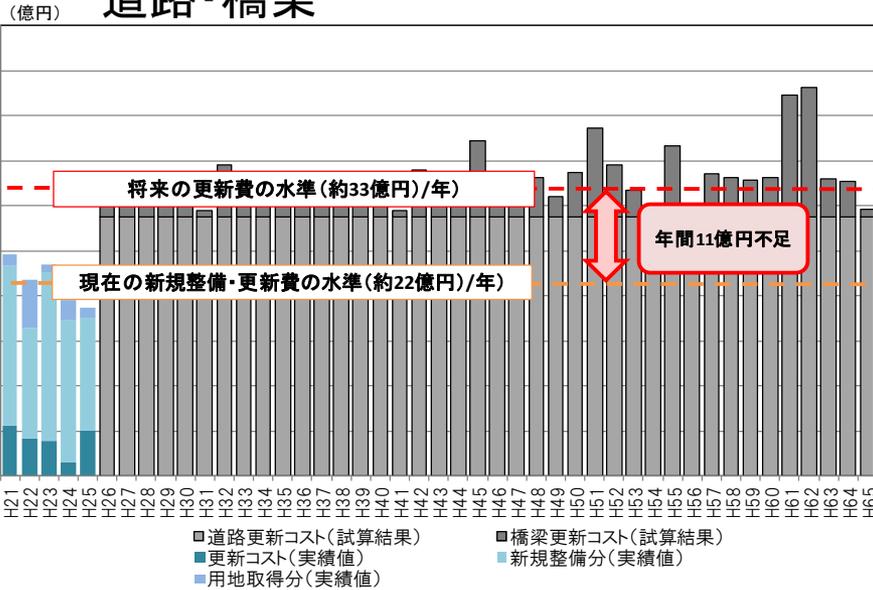
種類	延長(m)
処理場	2箇所(52,388㎡)
ポンプ場	2箇所
管渠延長	214,962m

その他の主な土木施設

用途(項目)	施設の種類	保有量	
河川施設	河川	164	河川
	水門・樋門	257,170	m
農業施設	農道	4	箇所
	農道橋梁(農道)	73,214	m
	農道橋梁(高速道上)	255	施設
	水門・樋門	86	施設
	排水機場施設	1	箇所
	揚水機場施設	4	箇所
	取水施設(転倒ゲート)	2	箇所
	取水施設(固定堰)	74	箇所
公園	灌漑用ため池	284	箇所
	農村公園	31	箇所
	都市公園	5	箇所
	普通公園	57	箇所
漁港	都市公園	1,154,253	㎡
	普通公園	88	箇所
林道	普通公園	161,482	㎡
	漁港	2	箇所
飲雑用水施設	林道	93	箇所
	水源池	183,057	m
	配水池	20	箇所
	ポンプ室	20	箇所
		5	箇所

道路・橋梁等に係る将来費用の推計

道路・橋梁

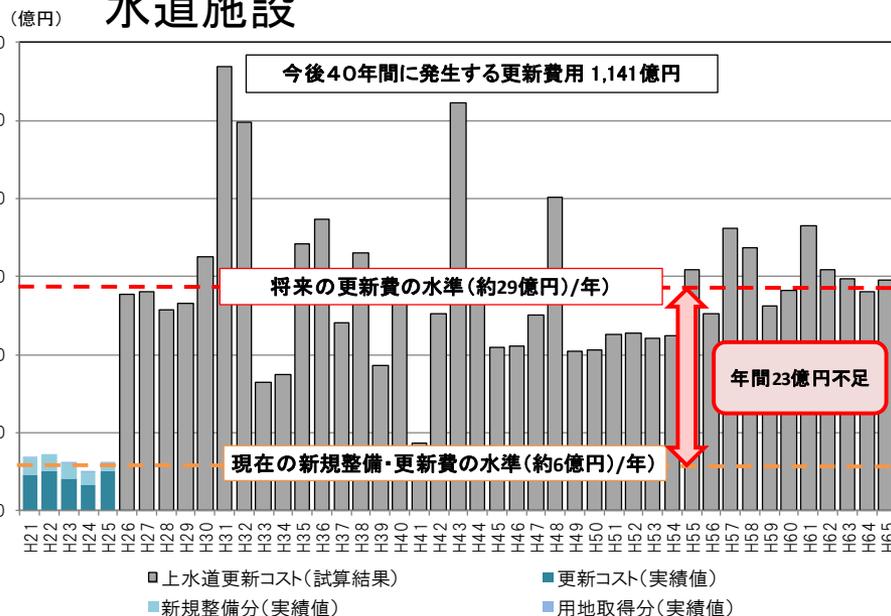


将来負担額(年平均)と予算との比較
 建築物 80億円/年(P5参照)
 道路・橋梁33億円/年(左グラフ)

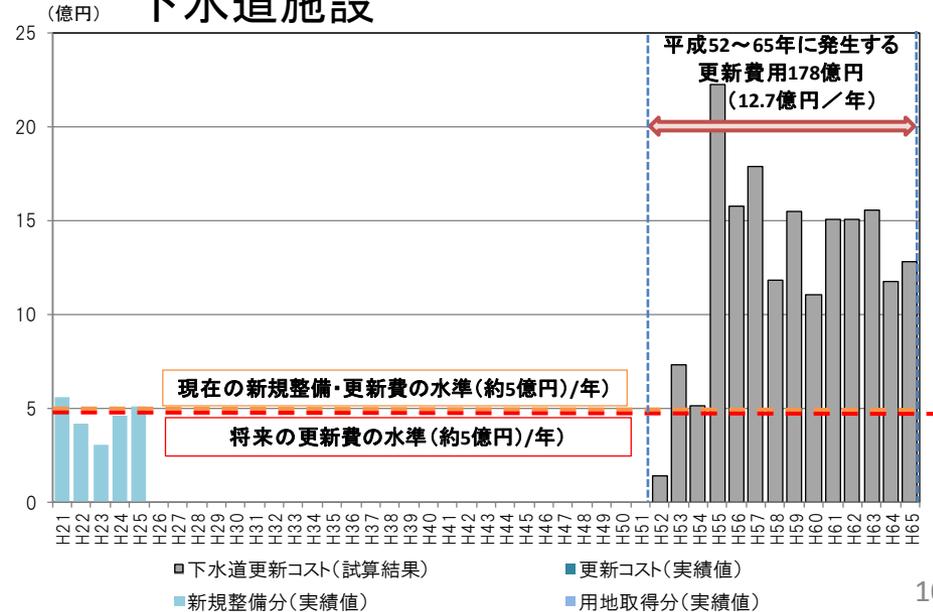
一般会計の負担 = 113億円
 平成27年度予算(普通建設+維持補修費)
 91億円(22億円不足)

水道管路29億円/年(左下グラフ:水道企業会計)
 下水道管渠12.7億円/年(下グラフ:下水道特会)

水道施設



下水道施設



【数値目標】 第1期計画のうち前期5か年間（平成27年度から平成31年度）で取り組む公共建築物総量適正化の目標は、床面積換算で9.9万㎡（12%）縮減とする。

【着眼点（ポイント）】

・「民間の類似サービスの有無」や「国が示す適正規模・適正配置等の基準」、「地域や民間等のニーズ」、「行政需要」、「不動産としての市場性」、などを基に総合的に判断する。

廃止

- ・低利用施設や利用者が限定される施設、行政が提供する必要性がなくなった施設等については、譲渡・除却を進める。
- ・民間活力の導入を図れる場合は、積極的に活用する。
- ・地域のコミュニティ活動等の利用ニーズに応じて、地域や民間等へ優先的に譲渡を進める。
- ・譲渡する場合は、可能な限り敷地（市有地）も併せて譲渡する。

維持

集約・複合化・転用

- ・提供している機能（サービス）に着目し、必要な機能の集約や複合化を図る。
- ・低利用等の施設は集約を進める。
- ・当該施設の機能の集約や複合化・多機能化、転用のために必要な改修や増築等は、必要最小限にとどめる。
- ・耐震基準を満たしていない場合は、耐震基準を満たすよう改修等を行う。
- ・維持管理コストの縮減を図るため、維持管理手法等を見直し、効率化を推進する。

現状維持

- ・耐震基準を満たしていない場合は、耐震基準を満たすよう改修等を行う。
- ・維持管理コストの縮減を図るため、維持管理手法等を見直し、効率化を推進する。

新規

- ・社会経済情勢の変化に伴い新たに必要となった機能は、可能な限り既存の公共建築物の転用や複合化・多機能化で対応する。

「霧島市公共施設管理計画」第1期実施期間（前期）の基本的な考え方 —道路・橋梁等（平成27年度～平成31年度）—

■道路・橋梁

① 長寿命化の推進

- 市道については定期的な点検・診断により、異常箇所の早期発見・早期補修を行い、健全な状態を維持し長寿命化等を推進する。
- 橋梁長寿命化修繕計画に基づき、健全な状態を維持するための定期的な点検を実施し、予防的な保全による補修に取り組み長寿命化を推進することでコストの縮減・平準化を図る。

② 市民との協働・民間活力の活用

- 市民との協働によるアダプト制度などの活用により安全性を確保する。
- 地域住民との連携が取れる環境を整え、情報収集や分析を行い、維持管理の効率化を図る。

③ 維持管理手法の見直し

- 市道台帳システムによる維持管理に係る情報の蓄積・共有化・見える化を行い、管理手法の効率化を図る。
- 新技術等導入による維持管理業務の効率化を図る。

④ 適切な管理水準及びサービス提供のあり方の検討

- 利用状況や状態、地域の人口動態などを踏まえ、維持管理レベル（除草回数）の見直しや通行規制などを検討する

「霧島市公共施設管理計画」第1期実施期間（前期）の基本的な考え方
—道路・橋梁等（平成27年度～平成31年度）—

■水道施設

① 長寿命化の推進

- 定期的な点検及び適切な補修・管理等による施設の維持を行い、長寿命化等を推進する。

② 市民との協働・民間活力の活用

- 施設の維持管理については、民間への委託を検討する。

③ 維持管理手法の見直し

- 耐震性・耐久性に優れた工法及び資材を採用し、安全性の確保とライフサイクルコスト（建設・維持管理・更新の総費用）の縮減・平準化を図る。
- クラウド型の遠隔監視システムを活用し、維持管理に係る情報の蓄積・共有化・見える化を行い、施設管理の効率化を図る。

④ 適切な管理水準及びサービス提供のあり方の検討

- 未給水区域への配水管等の整備に当たっては、整備基準を設け公平性及び経済性を確保する。
- 給水能力及び施設の統廃合等を含め適切な規模を検討し、計画的な施設の更新を行う。

「霧島市公共施設管理計画」第1期実施期間（前期）の基本的な考え方
—道路・橋梁等（平成27年度～平成31年度）—

■下水道施設

① 長寿命化の推進

- 下水道長寿命化計画に従い、適切な点検・診断等を行い健全な施設を維持し長寿命化を推進する。

② 市民との協働・民間活力の活用

- 効率的かつ効果的な運営のため、民間包括委託等の導入によるサービス水準等への影響や効果を検証するなど、民間活力の活用に係る検討をする。

③ 維持管理手法の見直し

- 予防的な補修に取り組み、ライフサイクルコスト（建設・維持管理・更新の総費用）の縮減・平準化を図る。
- 新技術等導入による維持管理業務の効率化を図る。

④ 適切な管理水準及びサービス提供のあり方の検討

- 地域の人口動態や市街地の形成状況などを踏まえ、持続可能な事業運営を行うために計画対象区域の見直しを行う。